

ピレモンへの手紙

ピレモンは、パウロの指導を受けてキリストを信じた、信望のあついクリスチャンでした。裕福な人で、彼の家がコロサイの信者たちの集会場になっていました。この人のところから逃げ出したオネシモという奴隷が、ローマで監禁中のパウロと出会い、クリスチャンになったのです。一度は主人を裏切ったものの、今では同じ信仰にはいったオネシモを、ピレモンのもとに帰そうと決心したパウロは、快く迎えてやってほしいという執りなしの手紙を持たせます。

1 2 イエス・キリストの良い知らせを伝えたことで投獄されたパウロと、信仰の友テモテから、愛する同労の友ピレモンへ。 また、礼拝のために、あなたの家に集まっている皆さんと私たちの姉妹アピヤ、それに私同様、キリストの十字架の兵士となったアルキポに、この手紙を送ります。

3 父なる神と主イエス・キリストが、あなたがたに、祝福と平安とを与えてくださいますように。

4 愛するピレモンよ。 あなたのことを、私はいつも神様に感謝しています。 5 それは、主イエス・キリストとすべてのクリスチャンに対する、あなたの愛と信頼とを、いつも耳にするからです。 6 それで、他人との交際において、クリスチャンとしてのあなたのりっぱな態度が、相手の心をとらえ、その生活までも変えることができるように、と祈っています。 7 愛する友よ。 こう言う私も、あなたの愛によってどれだけ慰められ、励まされたか知れません。 ほんとうに、あなたの親切は多くのクリスチャンを元気づけました。

8 9 そんなあなたを見込んで、ぜひ、お願いしたいことがあるのです。 もっとも、正しいことをしてもらおうというのですから、キリスト様の名によって命令してもよいのです。しかし、私たちの間には愛がありますから、あえて命令はしません。 年老いた今、キリスト・イエスのために投獄されている、この私からのお願いです。 10 どうか、鎖につながれた獄中で、私が主に導いたオネシモを、愛の心でやさしく迎えてやってください。私はオネシモを、わが子のように思っているのです。 11 オネシモ〔「役に立つ」という意味〕は、以前あなたのもとにいたころは、役立たずの奴隷であつたかもしれません。しかし、クリスチャンとなった今、あなたにとっても私にとっても、その名のとおり、役立つ者となりました。 12 そのオネシモを、そちらへ帰します。 その時、私の心もいっしょに行くでしょう。

13 内心、私は、キリストの良い知らせを伝えたことで捕らわれの身となっている間は、彼をそばにおいて、あなたの代わりに世話してもらいたかったです。 14 しかし、あなたの同意なしに、そんなことはしなくなかったのです。 親切は、無理じいされてするものではなく、心から喜んでするものですから。 15 こう考えてはどうでしょう。 オネシモが、しばらくのあいだ逃亡していたのは、永久にあなたのものとなるために、ほか

ならなかったのだ、というふうに。 16それも奴隷としてではなく、はるかにまさった者、つまり、私にとって特にそうなのですが、愛するクリスチャンの兄弟としてです。 あなたの感慨もひとしおでしょう。 単なる奴隷と主人の関係を超えて、キリスト様を信じる兄弟同士になったのですから。

17もしほんとうに私を友と思ってくれるなら、私を歓迎するように、オネシモをも、心から迎えてやってください。 18もし彼が、何か損害をかけたり、物を盗み出していたりしたら、その請求は、こちらに回してください。 19私が支払いましょう。 [その保証として、自筆でこの個所をしたためます。] この際、あなたの私に対する借りについては、とやかく言いますまい。 あなたのたましいが救われたのも、私の助けがあったればこそ、なのですが……。 20愛する友よ。 どうか、愛にあふれたすばらしい態度で、私の弱っている心を喜ばせ、主を賛美させてください。

21この手紙は、あなたが期待以上のことをしてくれる、と確信して書いたのです。

22それから、私の泊まる部屋を用意しておいてくれませんか。 神様があなたがたの祈りに答えてくださり、まもなく私もそちらへ行けるようになる、と期待しているからです。

23キリスト・イエスのことを語ったために、共に囚人の身となっているエパfrasが、よろしくと言っています。 24それから、私といっしょに働いているマルコ、アリストルコ、デマス、ルカも、よろしくとのことですよ。

25主イエス・キリストの祝福が、ご一同と共にありますように。

パウロ

■